

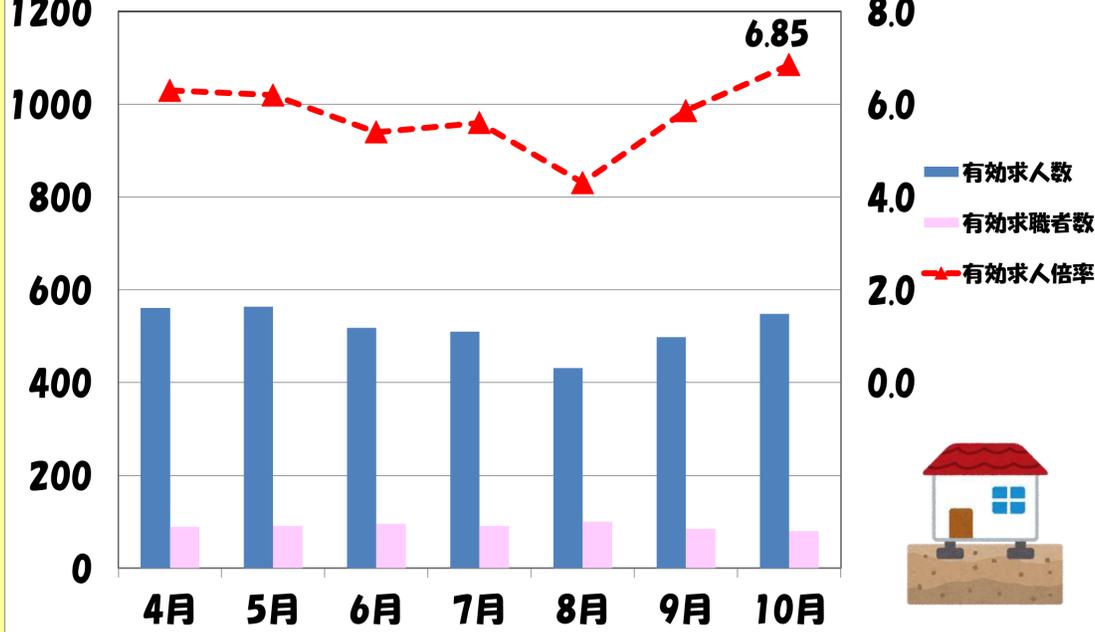
建設躯体工事の事業について (型枠大工、とび工、鉄筋工)



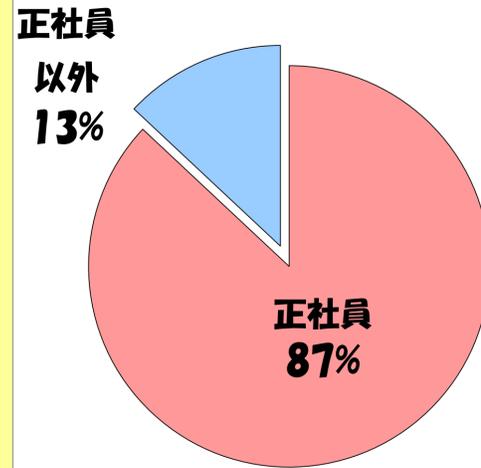
表①・・・・・・ 兵庫労働局職業安定部「平成26年度 労働市場 月報ひょうご」より
 表②～⑧・・・・ 兵庫県内のハローワークにおいて、平成26年9月～11月の3か月間に受付した建設躯体工事の事業に係る求人
 平成26年11月の1か月間に受付した建設躯体工事の事業に係る求職者より



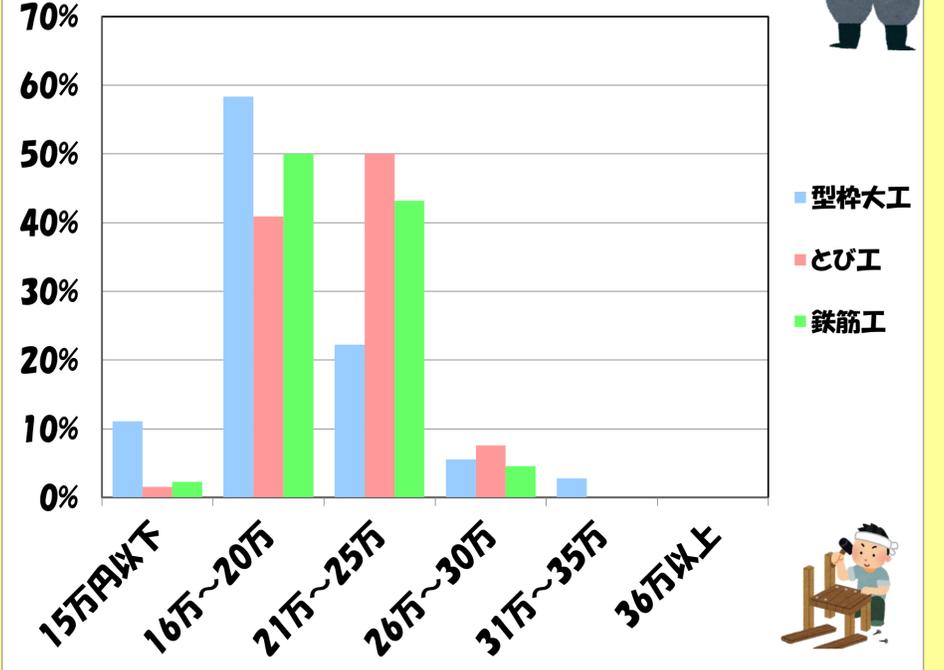
表① 求人数と求職者数および求人倍率
(建設躯体工事の事業)



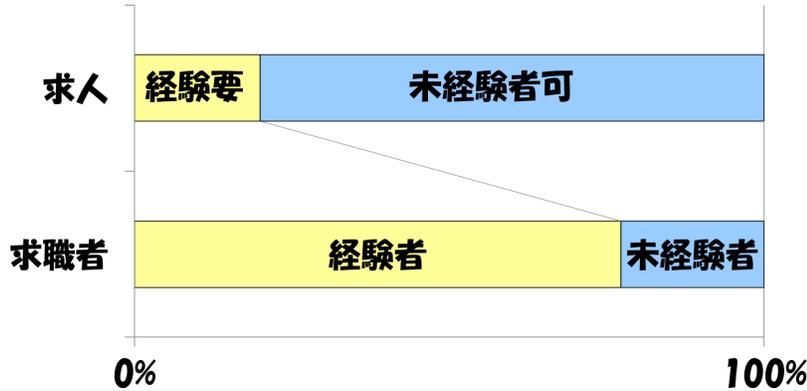
表② 建設躯体工事
正社員求人の割合



表③ 建設躯体工事 給料(求人票)



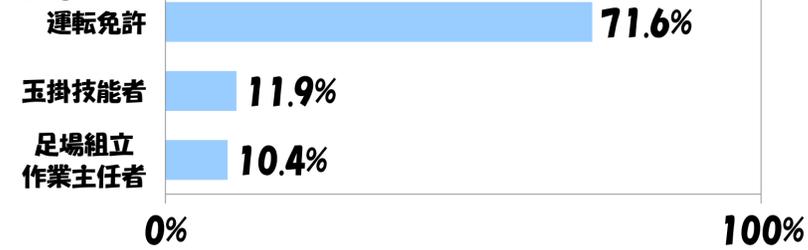
表④ 建設躯体工事 経験について



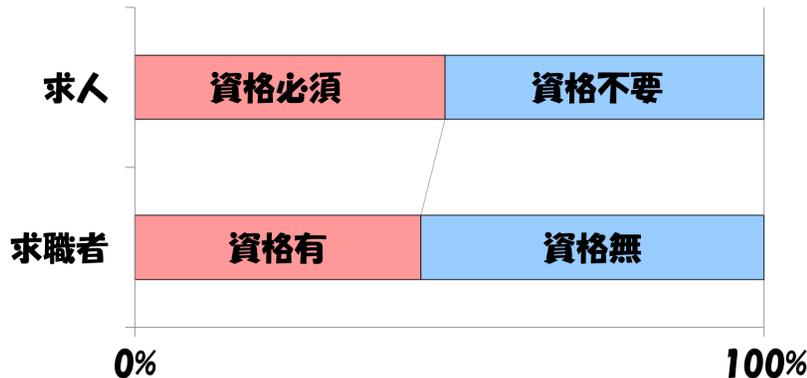
表⑥ 型枠大工の求人で必要とされている資格



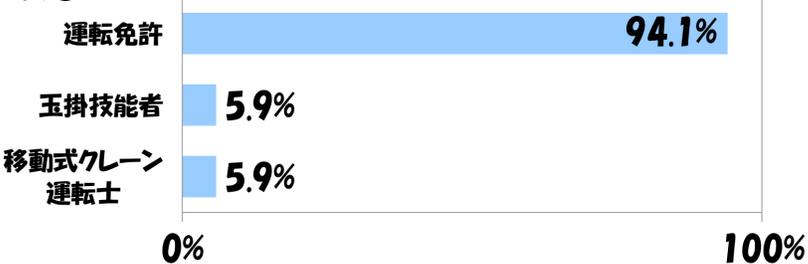
表⑦ とび工の求人で必要とされている資格



表⑤ 建設躯体工事 資格について



表⑧ 鉄筋工の求人で必要とされる資格



求人数に対して建設躯体工事を希望する求職者は非常に少なく10月の求人倍率は6.85倍となっています。直近6ヶ月の充足率も4%～8%と非常に低く、人手不足の状況が続いているのが現状です。

国土交通省の建設労働需給調査結果(平成26年10月調査)によると型枠工・とび工・鉄筋工全てにおいて技能労働者が不足傾向にあり最も不足傾向が大きいものとして、型枠工があげられています。

建設躯体工事の求人における正社員の割合は87%と高く、また求人ニーズと当該求人を希望する求職者の有する経験や資格に大きなずれはありません。

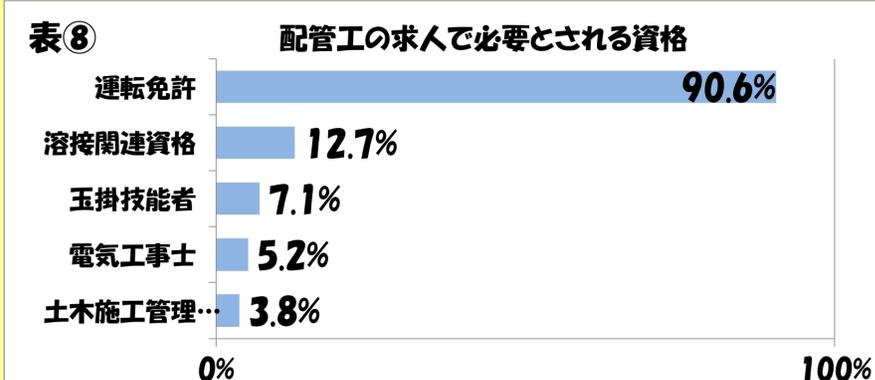
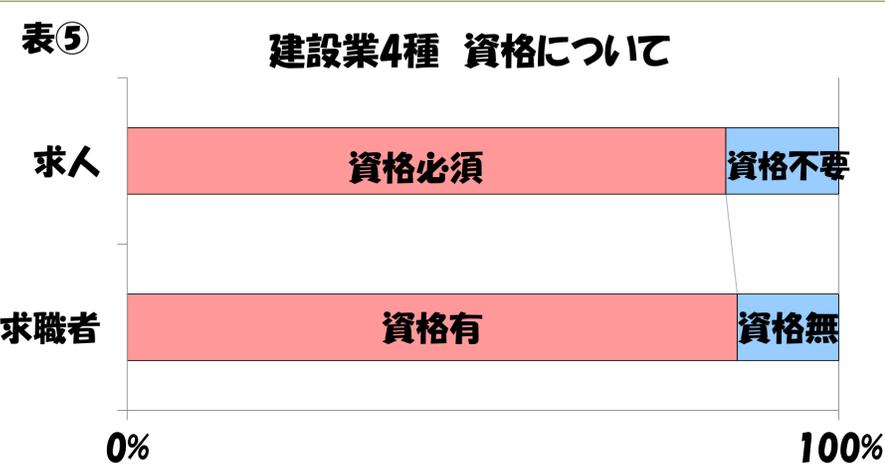
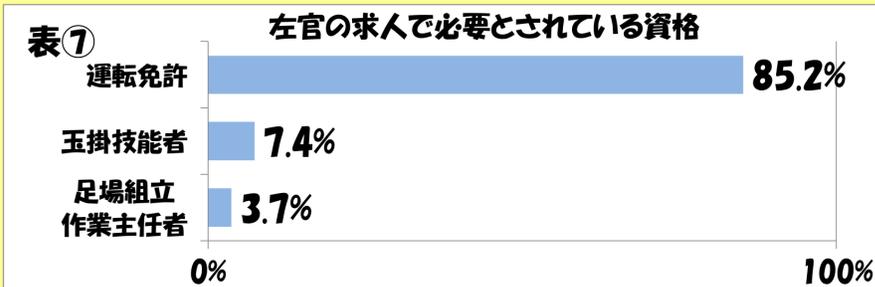
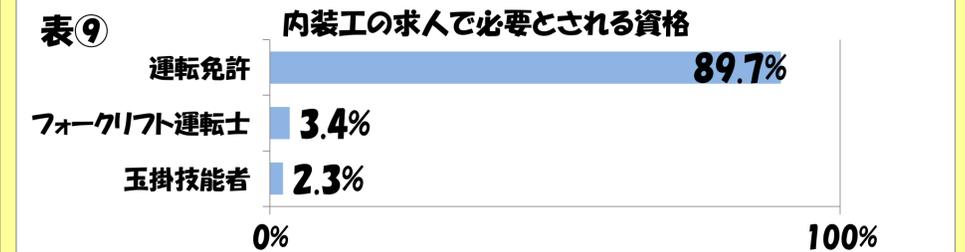
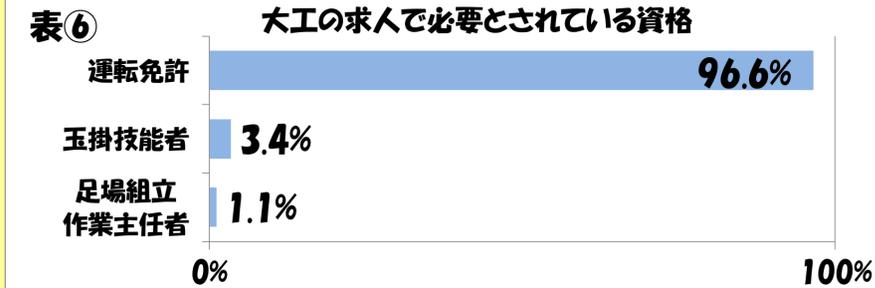
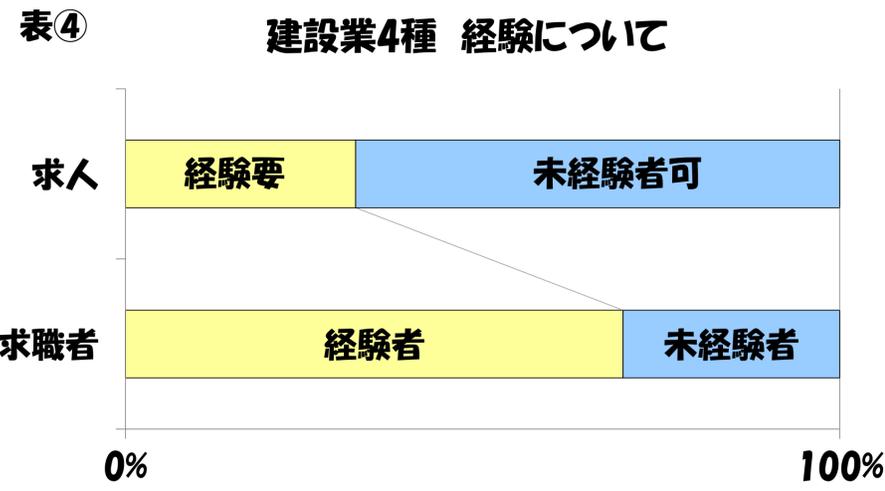
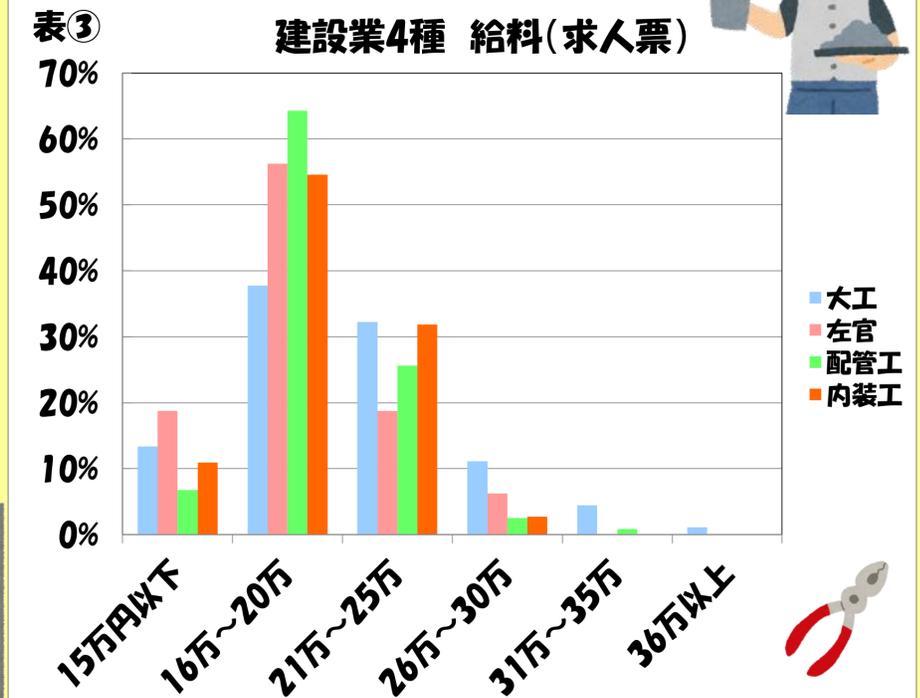
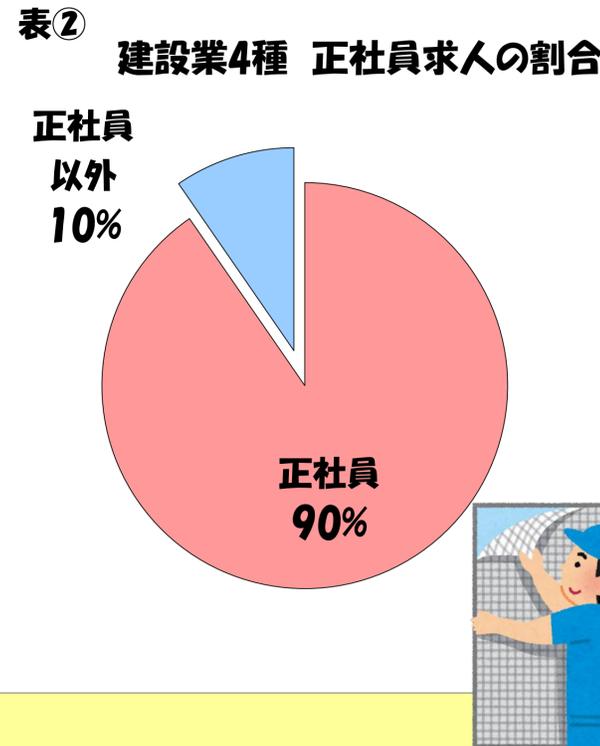
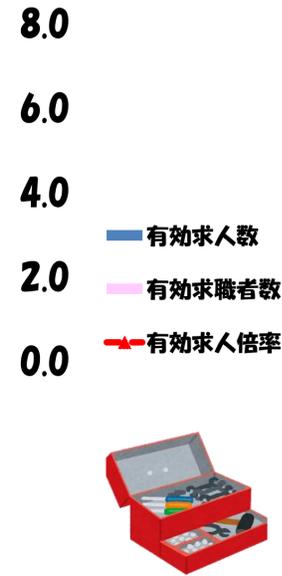
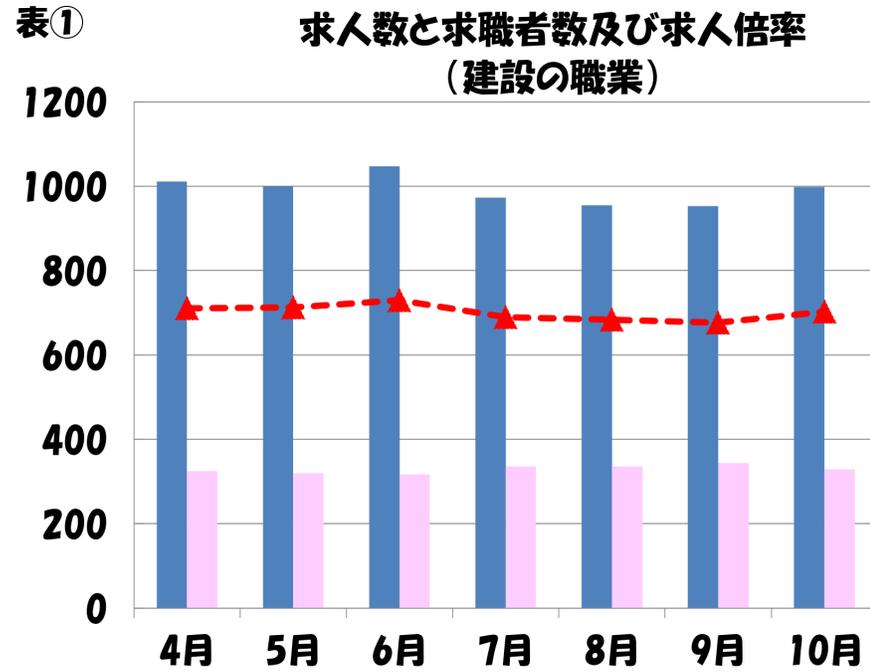
求人票に記載されている必要な資格は大半が運転免許で、特殊な資格を求めず広く人材確保をおこなっています。

建設業4種事業について

(職業分類の建設の職業のうち、大工、左官、内装工、配管工)

表①・・・・・・ 兵庫労働局職業安定部「平成26年度 労働市場 月報ひょうご」より

表②～⑨・・・・ 兵庫県内のハローワークにおいて、平成26年9月～11月の3か月間に受付した建設業4種事業に係る求人
平成26年11月の1か月間に受付した建設業4種事業に係る求職者より



求人数に対して建設業を希望する求職者は少なく、直近6ヶ月の求人倍率は2～3倍、充足率は10%～21%となっています。

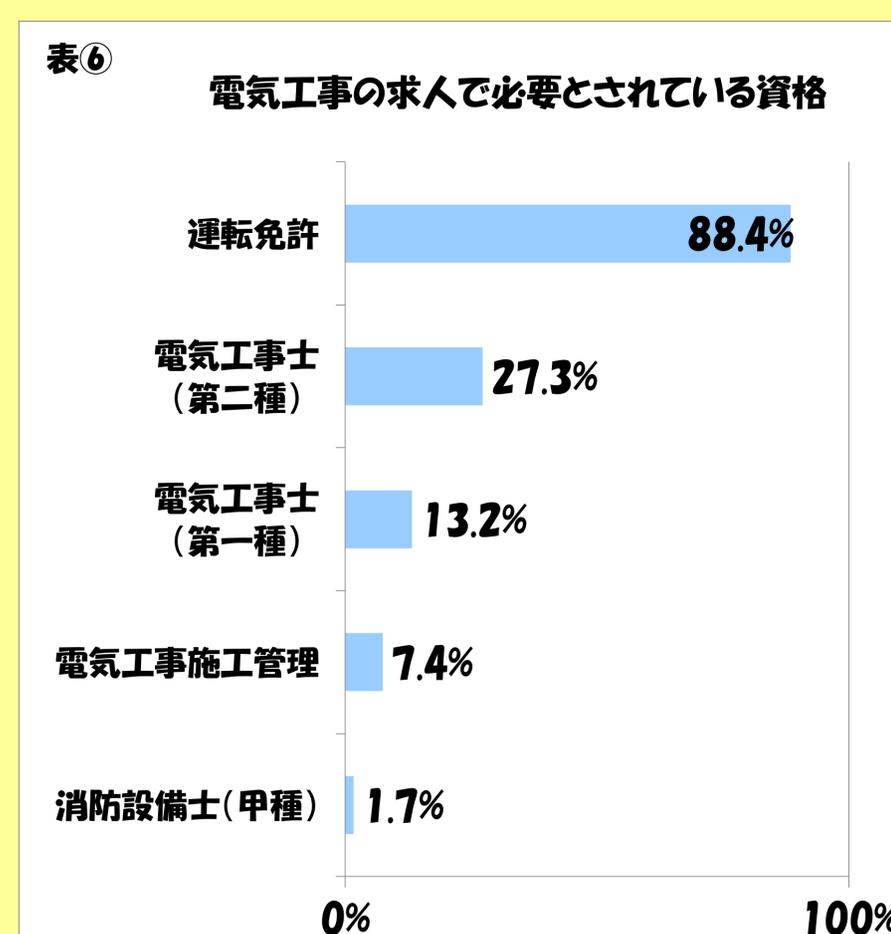
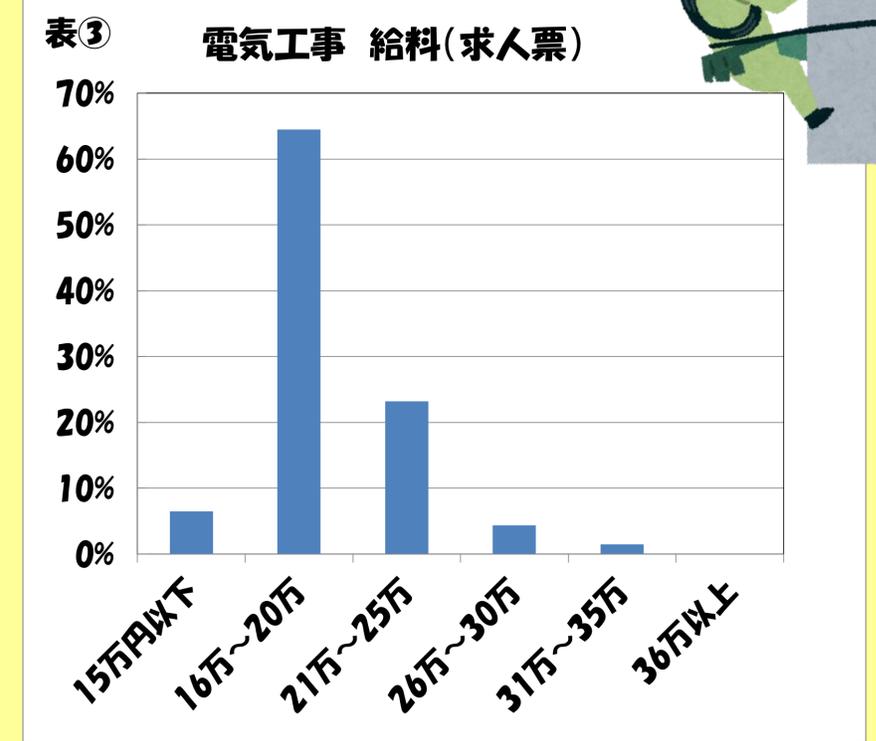
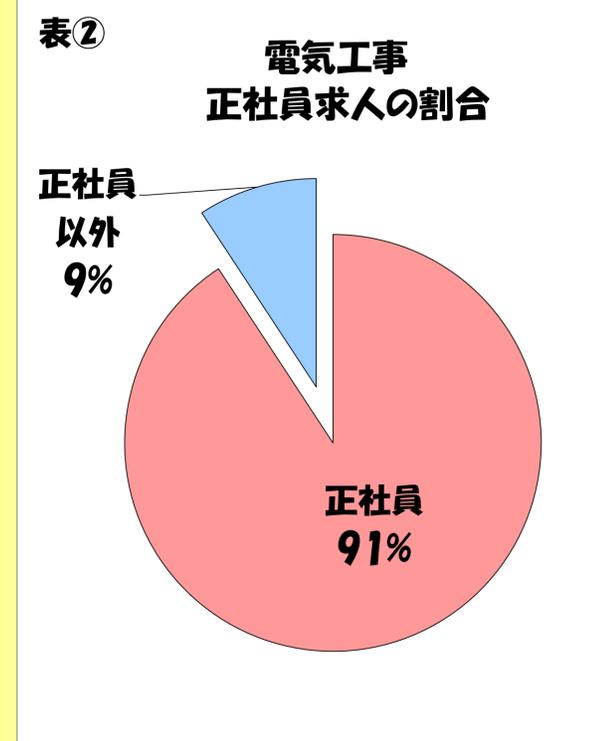
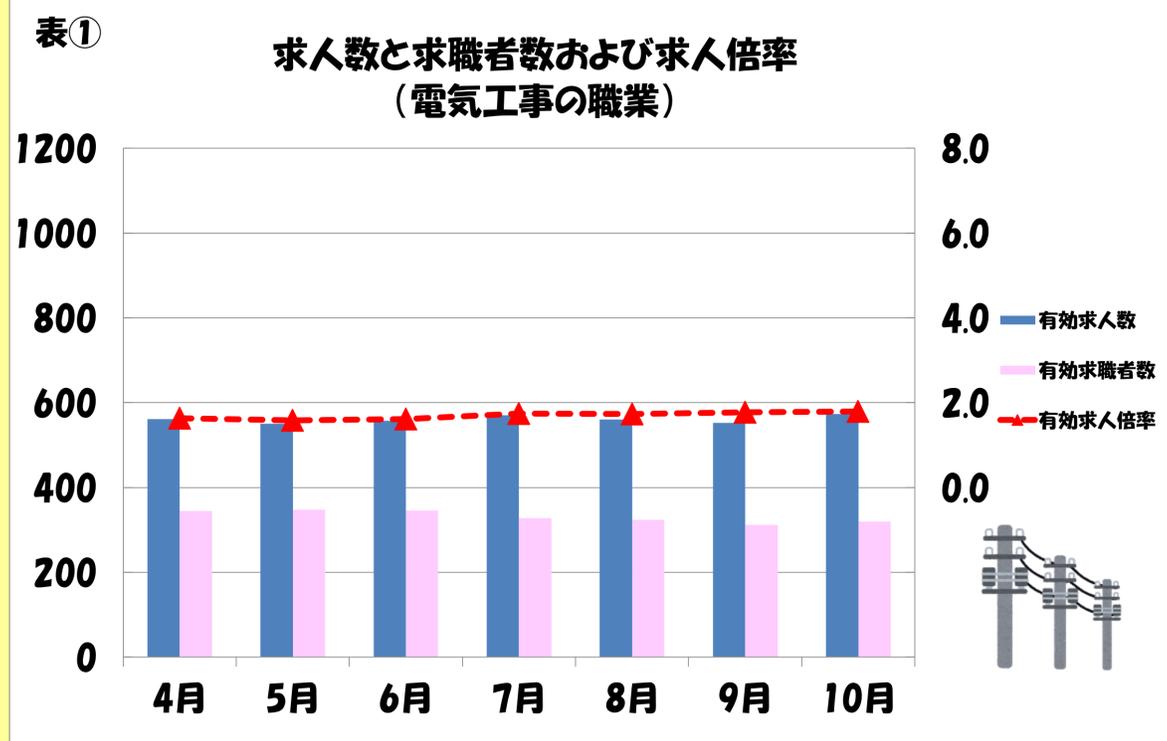
また、国土交通省の建設労働需給調査結果(平成26年10月調査)によると左官・配管工の技能労働者が不足傾向にあると言われています。

求人ニーズと当該求人を希望する求職者の有する資格や経験に大きなずれはなく、求職者の約7割は経験者となっています。求人における正社員の割合は90%と高くなっています。求人のおける84%が資格を必要としています。大半は運転免許となっており、職種の幅が広い配管工では運転免許以外に溶接関連資格・玉掛技能者・電気工事士・土木施工管理技士などの資格があがっています。

電気工事の事業について

(送電線、配電線、通信線架線・敷設作業員、電気通信設備作業員、電気工事作業員)

表①・・・・・・ 兵庫労働局職業安定部「平成26年度 労働市場 月報ひょうこ」より
 表②～⑥・・・・ 兵庫県内のハローワークにおいて、平成26年9月～11月の3か月間に受付した電気工事に係る求人
 平成26年11月の1か月間に受付した電気工事に係る求職者より



他の建設職種に比べ、直近6か月で見ると求人倍率はやや低く約1.7倍となっており、充足率は16%～27%とやや高くなっています。

国土交通省の建設労働需給調査結果(平成26年10月調査)によると電気工事の技能労働者が不足傾向にあると言われています。

求人ニーズと当該求人を希望する求職者の有する資格や経験に大きなずれはなく、求職者の電気工事で必要とされる資格の保有率は97%と高くなっています。求人票で必要とされる資格は大半が運転免許で、続いて電気工事士(第二種・第一種)があがっています。

求人における正社員の割合については91%と高くなっています。

土木の事業について

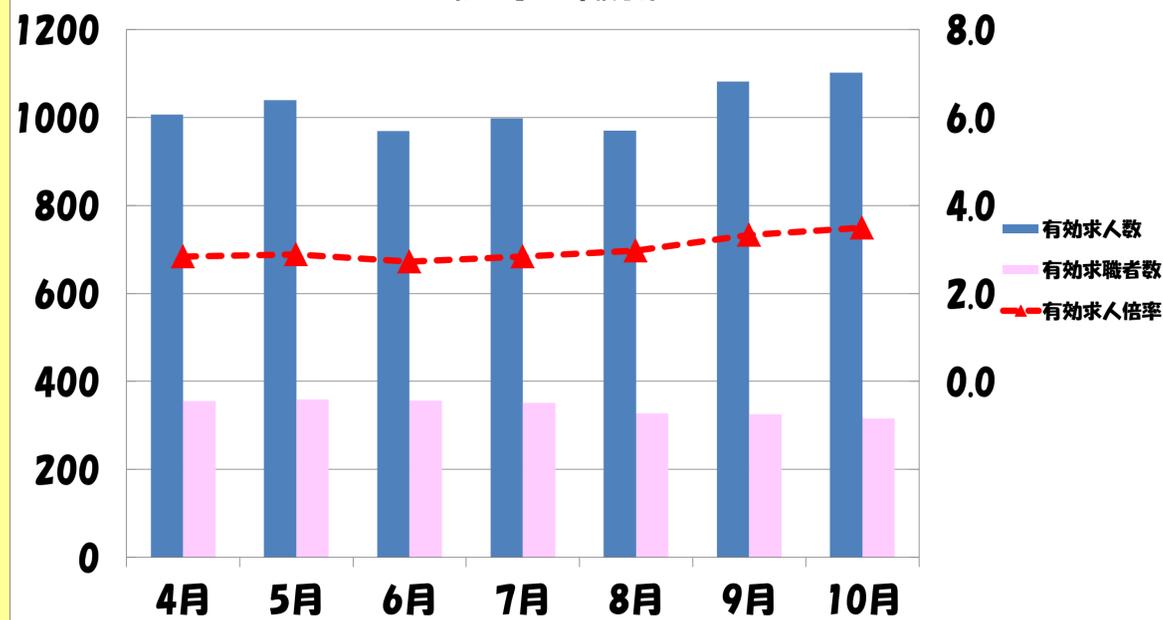
(職業分類の土木の職業のうち、土木作業員)



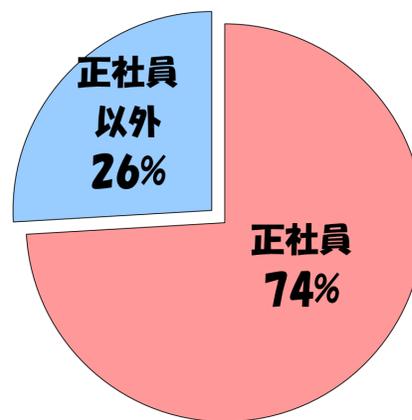
表①・・・・・・ 兵庫労働局職業安定部「平成26年度 労働市場 月報ひょうご」より
 表②～⑥・・・・ 兵庫県内のハローワークにおいて、平成26年9月～11月の3か月間に受付した土木作業員に係る求人
 平成26年11月の1か月間に受付した土木作業員に係る求職者より



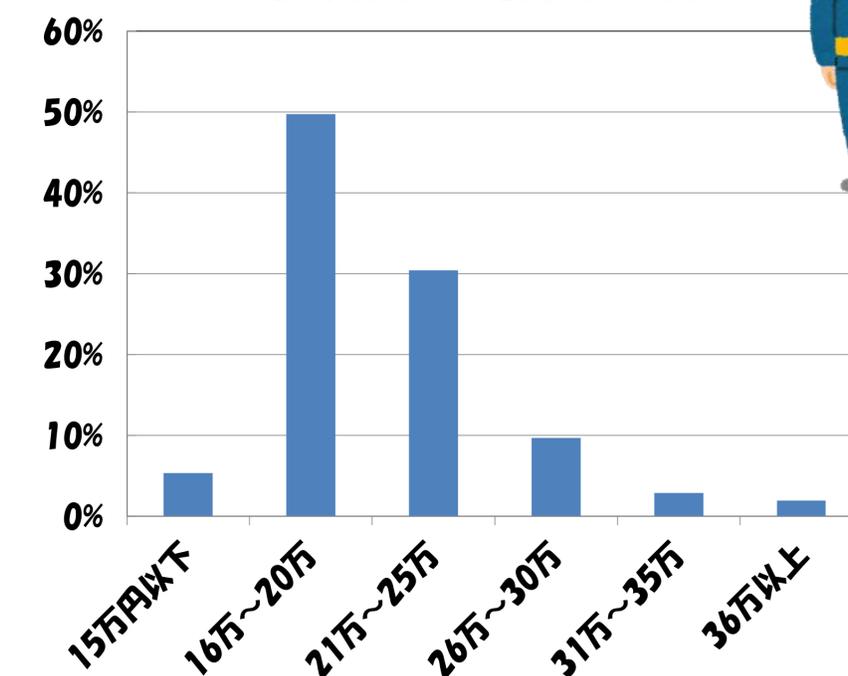
表① 求人数と求職者数および求人倍率 (土木の職業)



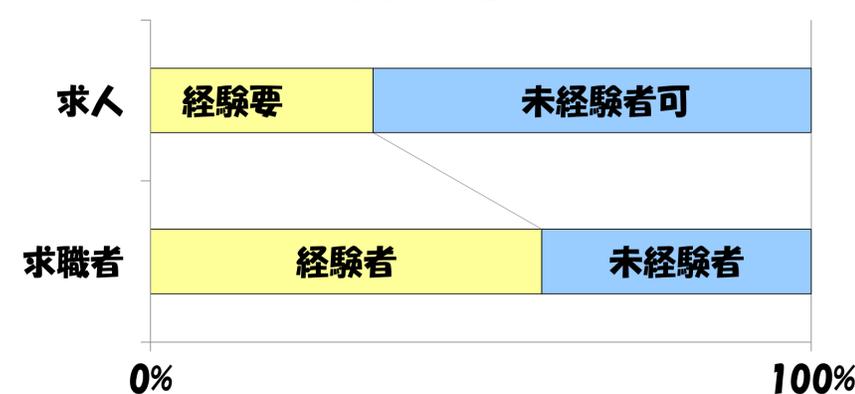
表② 土木作業員 正社員求人の割合



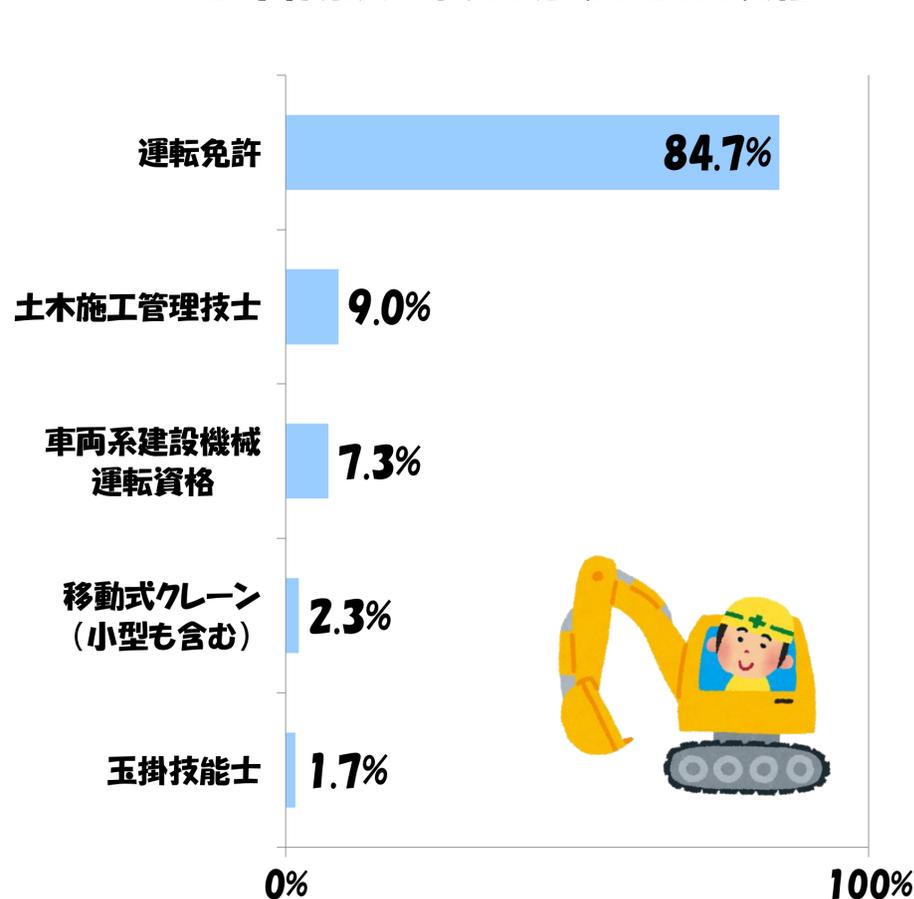
表③ 土木作業員 給料(求人票)



表④ 土木作業員 経験について



表⑥ 土木作業員の求人で必要とされる資格



表⑤ 土木作業員 資格について



求人数に対して土木の職業を希望する求職者は少なく、直近6ヶ月の求人倍率は2～3倍、充足率は12%～22%となっています。

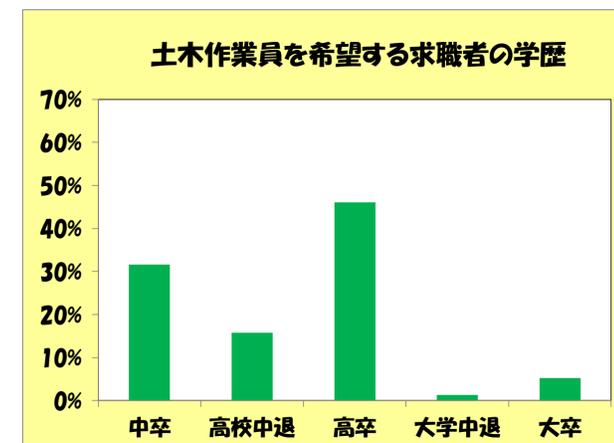
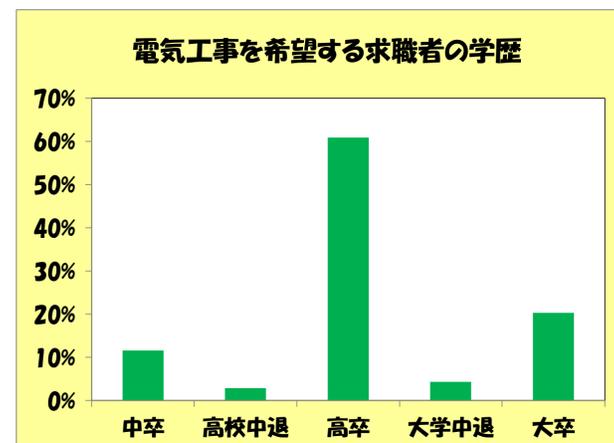
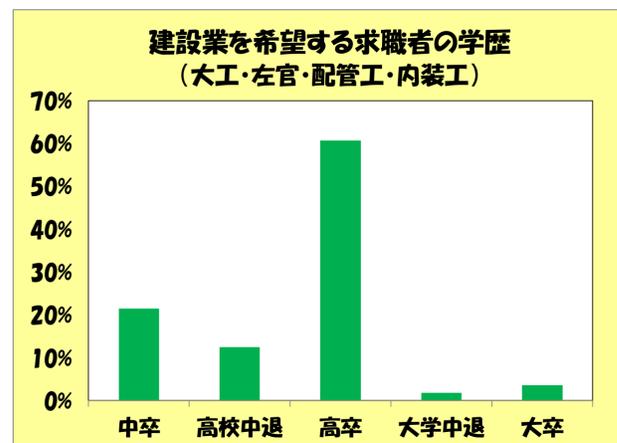
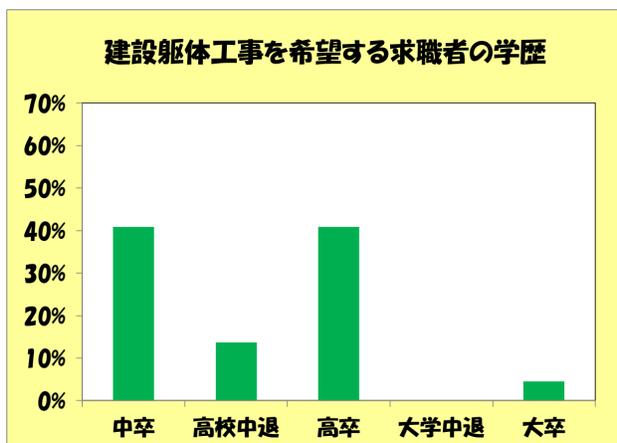
求人ニーズと当該求人を希望する求職者の有する資格や経験に大きなずれはなく、求人の80%が資格を必要としています。その大半は運転免許となっており、特殊な資格を求められているわけではないようです。

求人における正社員の割合については他の建設業に比べると低く、74%となっています。

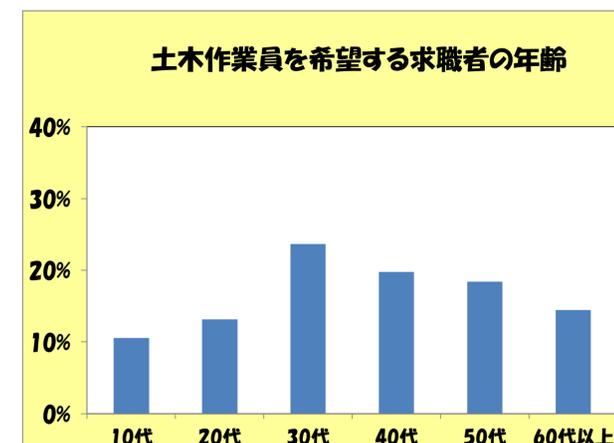
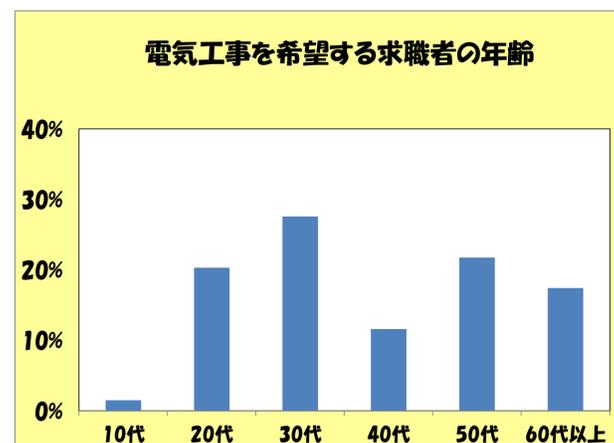


建設業を希望する求職者の特徴

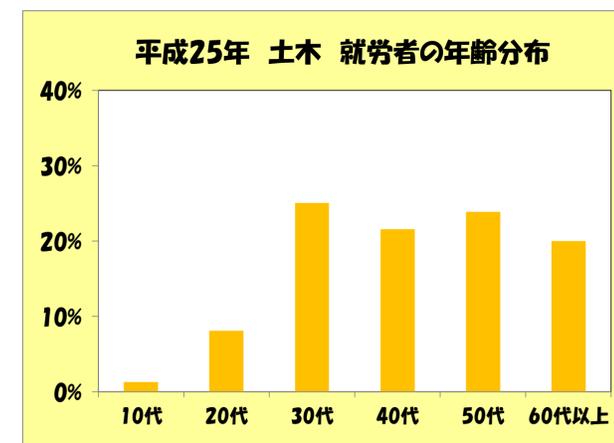
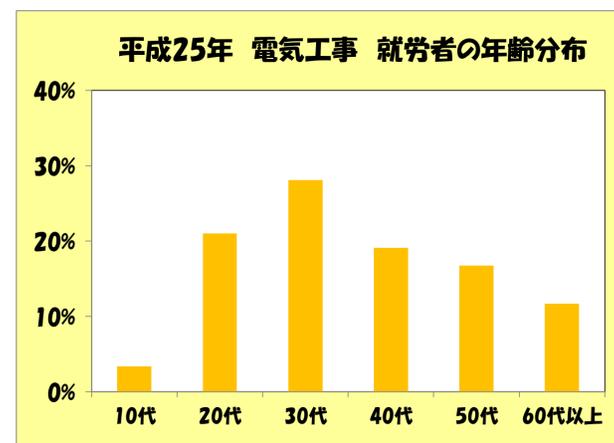
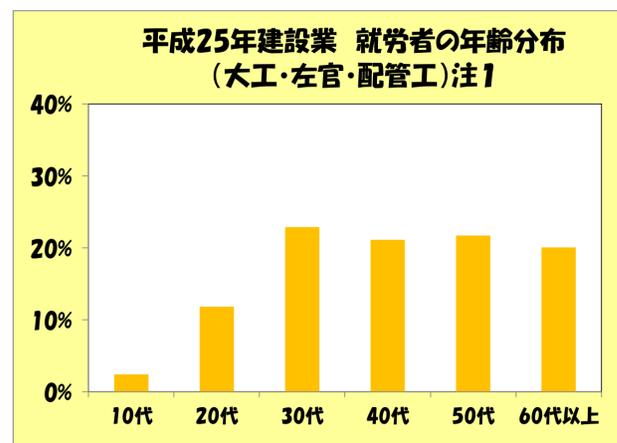
建設業を希望する求職者の学歴は中卒・高卒が多く見られます。平成25年賃金構造基本統計調査より就業者の年齢分布を見ると、若い年代の人が少なく30代～60代以上が中心となっています。建設業希望者の年齢については職種によって異なり、建設躯体工事では比較的若い年代の希望者が多く見られますが、土木を希望する求職者は20代の割合が他の職種に比べて低くなっています。国土交通省の建設労働需給調査結果においても、技能労働者が不足傾向にあると言われており、就労者・求職者の20代以下の割合が低い職種について今後、技術・技能の継承が困難になると思われます。



※兵庫県内のハローワークにおいて、平成26年11月の1か月間に受付した求職者について把握したものの。



※兵庫県内のハローワークにおいて、平成26年11月の1か月間に受付した求職者について把握したものの。



※平成25年賃金構造基本統計調査より(全国データ)

注1 平成25年賃金構造基本統計調査の年齢分布図に内装工は含まれていません。